



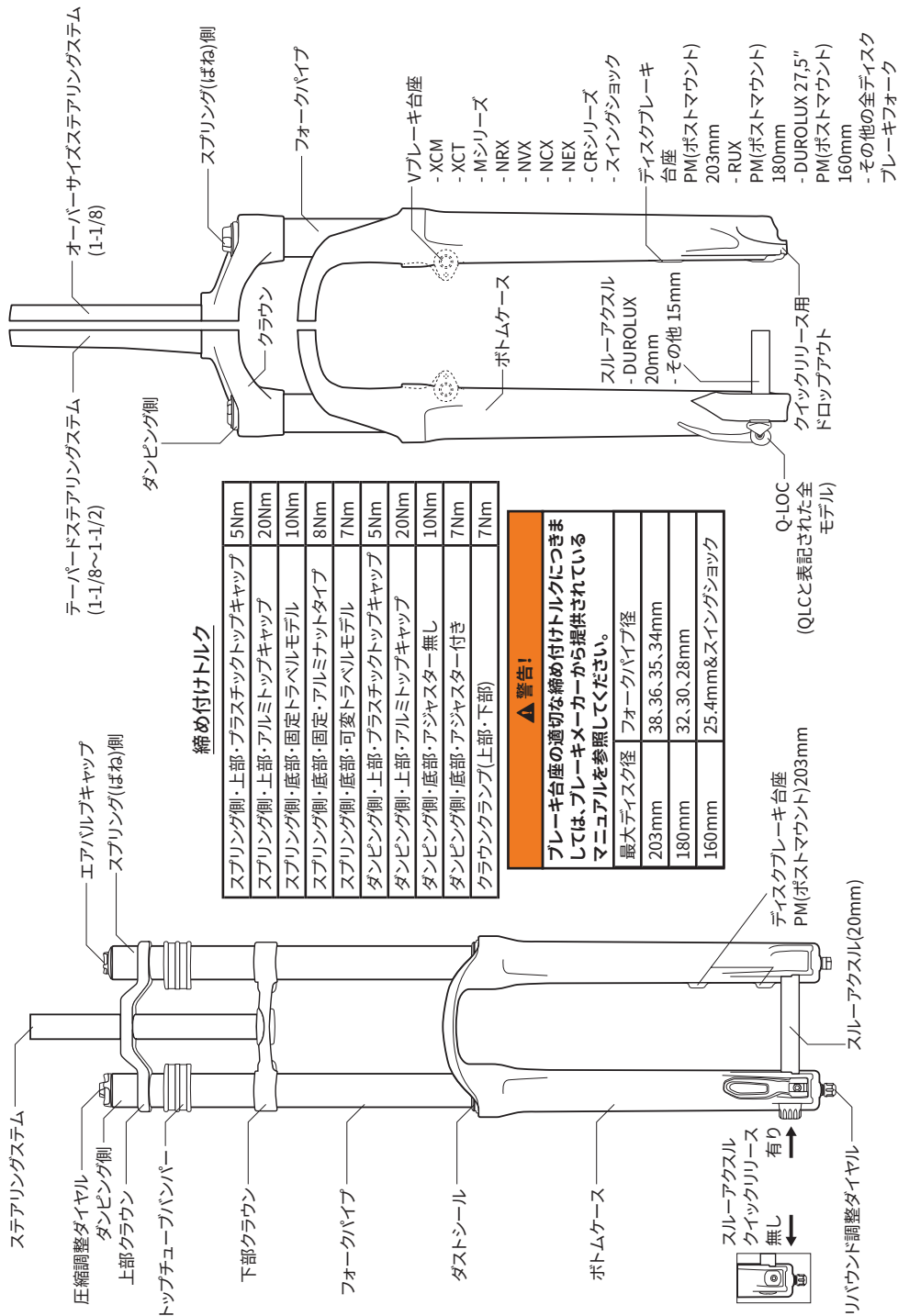
## 取扱説明書

# サスペンションフォーク

### ▲警告!

本説明書をよくお読みになり、理解したうえで正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも再び読めるように安全な場所に保管してください。SRSUNTOUR製品の使用やメンテナンスに当たって不明な点がある場合はご連絡ください。警告や指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や怪我、致命傷につながります。

概要	2
安全に関する重要な情報	3
お乗りになる前に	3
フォークの取り付け	4
タイヤとの間隔	4
タイヤとの間隔の確認	4
15mmボルト止めアクスルの取り付け・取り外し	5
20mmツールタイプアクスルの取り付け・取り外し	5
20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し	6
Q-LOCの取り付け・取り外し	6
空気圧と「サグ(沈み量)」	7
コイルばねのプリロード(予荷重)	8
フォークのメンテナンス	8
メンテナンスについて	8
製品保証規定	8
ウェブリンク	10
フォーク別用途一覧	11

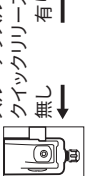


締め付けトルク

スプリング側・上部・プラスチックトップキャップ	5Nm
スプリング側・上部・アルミトップキャップ	20Nm
スプリング側・底部・固定トラベルモデル	10Nm
スプリング側・底部・固定・アルミナットタイプ	8Nm
スプリング側・底部・可変トラベルモデル	7Nm
スプリング側・上部・プラスチックトップキャップ	5Nm
ダンピング側・上部・アルミトップキャップ	20Nm
ダンピング側・底部・アジャスター無し	10Nm
ダンピング側・底部・アジャスター付き	7Nm
クラウンクラウン(上部・下部)	7Nm

**▲ 警告!**  
 ブレーキ台座の適切な締め付けトルクにつきましては、ブレーキメーカーから提供されているマニユアルを参照してください。

最大ディスク径	フォークパイプ径
203mm	38、36、35、34mm
180mm	32、30、28mm
160mm	25.4mm&スイングジョック



リバウンド調整ダイヤル

ディスクブレーキ台座  
PM(ポストマウント)203mm

スルーアックスル(20mm)

Q-LOC (QLCと表記された全モデル)

クイックリリース用  
ドロップアウト

スルーアックスル  
- DUROLUX  
20mm  
- その他 15mm

ディスクブレーキ  
台座  
PM(ポストマウント)  
203mm  
- RUX  
PM(ポストマウント)  
180mm  
- DUROLUX 27,5"  
PM(ポストマウント)  
160mm

- その他の全ディスク  
ブレーキ  
- プレキ  
- フォーク

### ▲ 警告!

警告や安全に関するすべての指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や重い人身傷害、乗員の致命傷につながる場合があります。

- ▶ サスペンションシステムをお使いになる前に、本説明書をよくお読みください。
- ▶ 記載されている指示内容には、お使いのサスペンションシステムの正しい取り付け方や点検・整備、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。一般的な機械知識では対応できない場合がありますので、お使いのサスペンションシステムの取り付けや点検・整備は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が専用の工具を使用して行う必要があります。
- ▶ SRSUNTOURのサスペンションシステムには超高压の液体やガスが使われています。SRSUNTOURのサスペンションシステムは絶対に分解しないでください。部品が勢よく飛び出すことがあります。
- ▶ SRSUNTOURのサスペンションシステムは1つの統合システムとして設計されています。正常に動作させて事故を防止するために、必ずSRSUNTOURの純正部品を使用してください。他社のスペアパーツを使用した場合、お使いのサスペンションシステムは保証対象外となります。
- ▶ 禁止の警告ステッカーが貼られている場合、当該サスペンションシステムはジャンプや急勾配の丘下り(ダウンヒル)、フリーライド、ダートジャンプを目的とした製品ではありません。こうした指示を無視してお使いになると、サスペンションシステムの故障の原因となり、事故や人身傷害、致命傷につながるだけでなく、保証の対象外となります。
- ▶ SRSUNTOURのサスペンションシステムは、乗員1名による使用を前提にして設計されています。
- ▶ お使いのフレームの寸法や乗車スタイルに合わせて、適切なサスペンションシステムをお選びください。フレームの寸法に合わないサスペンションシステムを取り付けると、サスペンションシステムやフレームの故障の原因となり、サスペンションの保証も無効になります。
- ▶ 自分の技量や経験の限界を把握し、決して無理な乗り方はしないでください。
- ▶ 自転車や関連するコンポーネントの取扱説明書をよくお読みになり、理解した上で正しくお使いください。
- ▶ 必ず適切な安全装備をお使いください。自転車用ヘルメットは頭に合ったものを、きちんとあごひもを締めて着用してください。自分の乗車スタイルに合わせて、適切な安全装備を適宜使用してください。安全装備は必ず最適なコンディションのものをお使いください。
- ▶ これまでに別のサスペンションシステムをお使いになっていた場合でも、新しいサスペンションシステムを購入した場合は慎重にスピードを出さずに乗車し、その感覚に徐々に慣れるようにしてください。
- ▶ SRSUNTOURのサスペンションシステムには公道を走る際に必要なフロントリフレクターは付いていません。公道や自転車専用道路を走る場合は、必ずフロントリフレクターを取り付けてください。詳細は販売店にお問い合わせください。
- ▶ 前輪を外して使用するタイプの自転車用ラックをお使いの場合は、ラックへのつめ部分の抜き差しを慎重に行うようにしてください。つめを曲げないようにご注意ください。
- ▶ 前輪のつめだけで自転車を固定するタイプの自転車用ラックをお使いの場合は、必ず後輪をしっかりと固定して動かないようにしてください。後輪が動くと同輪のつめが損傷する可能性があり、このような損傷は見た目では気付かない場合があります。
- ▶ 自転車が自転車用ラックから外れ落ちてしまった場合は、乗車する前に資格を持つ自転車整備士に点検してもらってください。

## お乗りになる前に

### ▲ 警告!

重度の人身傷害や致命傷を防止しましょう。以下の基準のいずれかを満たしていない場合は自転車に乗ってはいけません。

- ▶ 自転車とサスペンションシステムを点検し、ハンドルやペダル、クランク、シートポスト、サドルなどに亀裂やへこみ、ねじれ、変色がないか確認してください。また、サスペンションにオイル漏れがないことも確認してください。自転車の下側の見えない部分も必ず確認してください。いずれかの状態が確認できた場合は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士に見てもらい、原因を突き止める必要な処置を行ってください。
- ▶ 体重をかけてサスペンションシステムを圧縮してみてください。柔らかすぎると感じた場合は必要な調整を行い、適正なサグ(沈み量)にしてください。沈み量につきましては、本説明書の「空気圧とサグ(沈み量)」を参照してください。
- ▶ ブレーキが適切に取り付け/調整され、適正に動作することを確認してください。
- ▶ 前後の車輪を回転させて、両輪とも正確に中心に位置し、サスペンションシステムやブレーキに接触していないことを確認してください。
- ▶ 前後の車輪をクイックリリースシステムで固定している場合は、すべてのレバーやナットが適切に締め付けられていることを確認してください。貫通軸(スルーアクスル)システムをお使いの場合は、すべての取り付けボルトが適正なトルク値で締め付けられていることを確認してください。クイックリリースや貫通軸を提供するメーカーの取扱説明書をよくお読みになり、必ず指示に従うようにしてください。
- ▶ ケーブル長や取り回しを確認し、自転車のハンドルを切ってもどこにも干渉しないようにしてください。
- ▶ 公道を走るためにリフレクターを付けている場合は、汚れていない事、適切に取り付けられている事を確認してください。
- ▶ すべてのコンポーネントの取り付けを点検し、しっかり固定されていることを確認してください。
- ▶ 地面で自転車をパウンドさせ、緩んでいるところがないことを目と音で確認してください。

### ▲警告!

製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ご購入いただいたSRSUNTOURのサスペンションシステムは、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が取り付けや点検・整備を行う必要があります。

### ▲警告!

製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ブレーキやヘッドセットなどの取り付け用ねじはすべて、それぞれのコンポーネントを製造するメーカーが指定するトルク値で締め付ける必要があります。

1. 古いフォークを自転車から取り外し、フォークからクラウンレースを外してください。
2. 古いフォークのステアリングシステムの長さを測り、SRSUNTOURのフォークのステアリングシステムの長さと同じ長さです。SRSUNTOURのサスペンションフォークのステアリングシステム長は標準で255mmとなっているため、短く切って適正な長さに調整する必要があるかもしれません。
3. フォーククラウン上端部にクラウンレースをしっかり圧入します。フォークやその他の部品(ヘッドセット、スパーサー、ハンドドルシステム)を自転車に再装着します。ヘッドセットを調整して遊びをなくしてください。詳細はヘッドセットに付属している取り付け説明書を参照してください。

適正なステアリングシステムの長さは以下の要領で算出できます：

フレームのヘッドチューブ長 + ヘッドセットの高さ + スパーサー(使用する場合) + システムの高さ - 3mm(間隔)

4. ブレーキの説明書を参照してブレーキを取り付け、適切に調整してください。ディスクブレーキを使用している場合は、必ずディスクブレーキ取り付け用の穴に取り付けるようにしてください。カンチレバーブレーキの場合は、サポートシステムなしで使えるものを使用してください。ブレーキに付属している組み立て説明書を参照し、ブレーキケーブルは、フォークやハンドドルに干渉しない適切な長さのものにしてください。
5. 前輪を取り付けます。締め付けレバーやナットはすべて、必ず適切にセットして締め付けるようにしてください(クイックリリースを固定するには、ナットに少なくともねじ山が4回転入っていることが必要です)。スルーアクスルを備えたフォークの場合は、すべてのねじが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。クイックリリースまたはスルーアクスルに付属している説明書を参照してください。

## タイヤとの間隔

事前に車輪とフォークが適合していることを確認してください。タイヤに関する必要な情報はタイヤ側面に記載されています。タイヤ外径(タイヤの幅と高さ)はタイヤによって異なります。そのため、タイヤとフォークの間隔を確認し、いかなる状況下でもタイヤとフォークが接触しないようにする必要があります。フォークとタイヤの間隔がいちばん狭いのは、ディスクブレーキの場合はブレーキホースが固定されている辺り、Vブレーキの場合はブレーキ台座の辺りです。タイヤを外す場合は、何よりもまず先にタイヤの空気を抜いてください。そうすればタイヤは間隔の狭いところもフォークに接触せずに通り抜けます。

### ▲警告!

フォークに装着可能なサイズよりも大きなタイヤを使用するのは非常に危険であり、事故や大怪我、致命傷につながります。

## タイヤとの間隔の確認

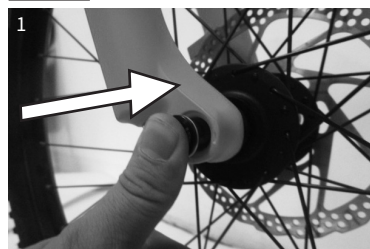
### ▲警告!

タイヤとの間隔を十分に取らないと自転車が突然制御不能になる場合があります、事故や人身傷害、致命傷につながります。

1. フォークのスプリング側から空気を抜きます(エアサスペンションの場合)。
2. フォークを奥までしっかり縮めます。
3. タイヤ上端部とフォーククラウン下側の距離を測定します。必ず10mm以上を確保してください。タイヤが大きすぎると、フォークが最大限縮んだ時にクラウン下面に接触してしまいます。
4. 確認が終わったら(問題がなければ)、エアサスペンションの場合は空気を再度規定圧まで注入してください。
5. 泥よけ(フェンダー)をお使いの場合はその分、間隔が狭まることに注意してください。この「タイヤとの間隔の確認」を繰り返し行い、空き間を十分に確保してください。この確認は、タイヤのサイズを変更するたびに繰り返し行う必要があります。

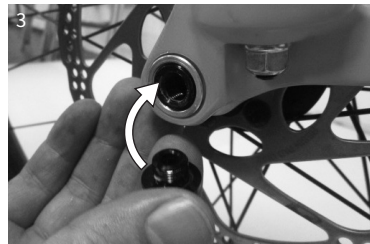
## 15mmボルト止めアクスルの取り付け・取り外し

### 取り付け



自転車の右側(駆動側)から車軸をしっかり押し込みます。

5mm六角レンチを使ってアクスルを締め付けます。(締付トルク8-10Nm)



自転車の左側(非駆動側)から止めねじを取り付けます。

5mm六角レンチで締め付けます。(締付トルク5-6Nm)



### 取り外し



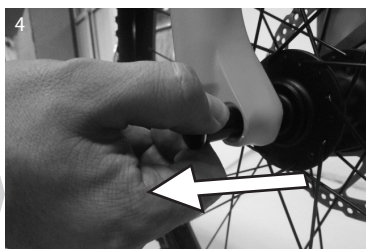
自転車の左側(非駆動側)の止めねじを5mm六角レンチを使って緩めます。

アクスルから止めねじを外します。



自転車の右側(駆動側)から5mm六角レンチを使ってアクスルを緩めます。

アクスルを引き出します。



## 20mmツールタイプアクスルの取り付け・取り外し



アクスルを差し込み、6mm六角レンチを使って締め付けます。(締付トルク10Nm)

セキュリティランプを4mm六角レンチで締め付けます。(締付トルク7Nm)



※取り外しの際は、上記の逆順になります。



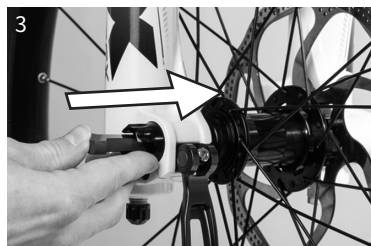
## 20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し

### 取り付け



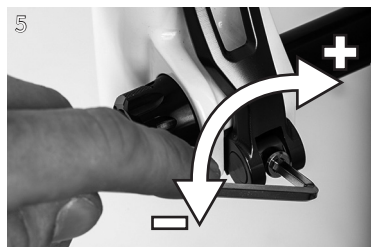
自転車の右側(駆動側)からアクスルを差し込みます。このとき赤い可動式レバーは先に出しておきます。

赤い可動式レバーを使ってアクスルを締め付けます。



締め付けたら赤い可動式レバーをアクスル内に押し込んで格納します。

クイックリリースレバーを閉じて固定します。



必要に応じて、4mm六角レンチを使って張力を調整します

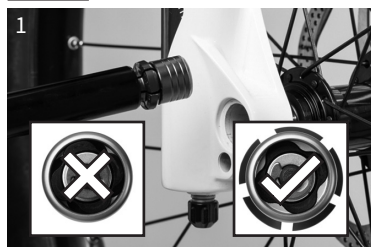
クイックリリースレバーはボトムケースにぴったり付けるように閉じてください。



※取り外しの際は、上記の逆順になります。

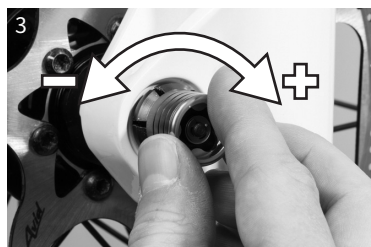
## Q-LOCの取り付け・取り外し

### 取り付け



アクスルを挿入する前に、赤いフランジが広がっている事を確認し、レバーを完全に開いた状態にしてください。

「カチッ」と音がするまでアクスルを押し込みます。フランジが広がっていることを確認してください。

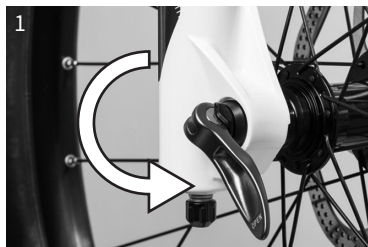


レバーを半分開めた状態で張力を調整し、フランジがボトムケースにぴったり付くようにしてください。

レバーをしっかり閉じてください。車輪が確実に固定されているか確認し、必要に応じて締め直してください。

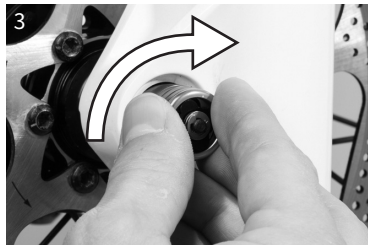
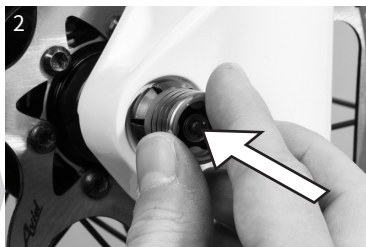


## 取り外し



右側(駆動側)のレバーを完全に開いてください

左側(非駆動側)のナットを押し付け、赤いフランジが内側に引っ込んでナットと同じ外径にします。



ナットを押し付けのまま時計回りに回し、手を離してもフランジが開かないようにします。

アクスルを引き出します。



## 空気圧と「サグ(沈み量)」

サグ=SAG(沈み)とは、自転車に乗る人の体重(バックパックなどの装備も含む)やサドルに座ったときの姿勢、フレームの形状などによって、乗っただけでサスペンションに加わる圧縮力(コンプレッション)のことであり、自転車に乗って走った結果、発生するものではありません。当然、体重やサドルに座ったときの姿勢は乗り手によって異なります。従って「サグ」も乗り手の姿勢や体重によって異なり、用途や好みにもよりますが、フォークの最大トラベル長の15%から30%程度にする必要があります。



1. バルブキャップを緩めて外し、フォーク/サスペンション用ポンプをバルブにねじ込んで装着します。
2. 必要な空気圧になるまでサスペンションフォークに空気を入れてください。推奨される最大空気圧を超えないようにしてください(下表参照)
3. フォークパイプのOリングをダストシール(一番下)まで下げてから、そっといつもの乗車姿勢で自転車にまたがって「サグ」(Oリングとダストシールの距離)を確認します。必要に応じて空気圧を調整してください。Oリングが付いていないモデルの場合、フォークパイプに結束バンドを巻くと「サグ」を正確に測定できます。「サグ」を測定する際には、自転車にじっと座っていられるようにするために壁に寄りかかってもかまいません。

ライダーの体重 (kg)	推奨空気 (psi)				
	RUX	DUROLUX/ AU- RON/AION	EPIXON TR	AXON	EPIXON XC/ RAIDON/ XCR
<55	<40	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55
55 - 65	40 - 50	50 - 60	60 - 70	55 - 65	55 - 65
65 - 75	50 - 60	60 - 70	70 - 80	65 - 75	65 - 75
75 - 85	60 - 70	70 - 85	80 - 90	75 - 85	75 - 85
85 - 95	70 - 80	85 - 100	90 - 105	85 - 95	85 - 95
>100	85+	105+	105+	100+	100+
最大空気圧	100psi	150psi	180psi	165psi	180psi

## コイルばね予荷 コイルばねのプリロード(予荷重) 重

ばねのプリロード(予荷重)を調整することにより、乗員の体重や乗車スタイルに合わせてフォークを調整できます。

設定するのはコイルばねの硬さではなく、ばねの予荷重です。これにより、乗員が着座した時のフォークのサグ(沈み)が抑えられます。通常は適度な硬さの標準的なばねが使われています。

ばねの予荷重は、プリロードアジャストノブを時計回りに回すと強まり、反時計回りに回すと弱まります。SRSUNTOURのサスペンションフォークでは、標準の硬さ以外にも柔らかめと硬め、合計3種類のばねをご用意しております。



## フォークのメンテナンス

可動部品は水分や汚れに曝されますので、何度が乗車するとサスペンションシステムのパフォーマンスが低下する可能性があります。サスペンションシステムを高いパフォーマンスで安全に永らくお使いいただくためには、定期的なメンテナンスが必要です。

- ▶ メンテナンス指示内容に従って点検・整備が行われていない場合、サスペンションシステムは保証対象外となります。
- ▶ サスペンションシステムを洗浄する際には、高圧洗浄機などの高い圧力の水を使用する機器を用いてはいけません。ダストシール部分から水が入り込む可能性があります。強力な洗浄剤も使用しないでください。サスペンションの汚れは、きれいな水と湿った布で拭き取るようにしてください。
- ▶ 過酷な気象条件(冬季、あるいは水がたまった泥だらけの道など)や起伏に富んだ地形を走る場合は、下記「メンテナンスについて」よりも多い頻度でサスペンションシステムの点検・整備を行う必要があります。
- ▶ お使いのサスペンションシステムのパフォーマンスがおかしい、あるいはハンドルの感覚がしっくりこないとお考えの場合は、すぐにフォークの点検を最寄りの販売店にご依頼ください。

## メンテナンスプラン

- ▶ 乗った後に必ず行うメンテナンス: フォークの各チューブやダストシールを掃除して少量の油を含ませた布で拭き上げて下さい。フォークパイプの表面にへこみや傷、変色、オイル漏れ等がないことを確認してください。
- ▶ 50時間毎に行うメンテナンス: メンテナンス1(販売店にご依頼ください)
- ▶ 100時間毎、または年1回行うメンテナンス: メンテナンス2(しっかりグリスを充填し天候による影響からすべてのパーツを保護できるように、できれば冬期に入る前に販売店にご依頼ください)

### メンテナンス1:

フォークの機能の確認 / ボトムケース底部の取り付け用ねじやナットの締め付けトルク(鉄製は10Nm、アルミニウム・マグネシウム製は4Nm)の確認 / 傷やへこみ、亀裂、変色、劣化の徴候、軽度の腐食(少量の油を含ませた布で拭き上げて保護)、オイル漏れの確認。

### メンテナンス2:

メンテナンス1の項目に加えて、フォーク全体(内側および外側)の分解清掃 / ダストシールやスライダースリーブの清掃および潤滑油塗布 / 締め付けトルクの確認 / 乗員のお好みに合わせた調整。分解する前にフォークのスライダースリーブの遊び(ガタつき)を確認します。スライダースリーブの遊びを確認するには、フォークを車体に取り付けた状態で前輪ブレーキをかけ、ハンドルステムを握って自転車を前後に優しく揺らします。遊びが大きすぎる場合(フォークブレース部で1mm以上)はスライダースリーブを交換してください。

## 製品保証規定

### 保証の範囲

SRSUNTOUR INC.(以下「保証人」という)は、「製品」を最初に小売店でご購入いただいた日から2年間(ダンパーは1年間、またシールやスライダースリーブ、ブッシングは半年間)、SRSUNTOURの「製品」の材質や仕上がりに欠陥がないことを保証します。この限定保証を、ここでは「製品保証規定」と呼びます。本「製品保証規定」において「製品」の欠陥に対して「購入者」が持つ唯一かつ排他的な救済手段は、「保証人」が独自の判断で行う、欠陥のある「製品」もしくはそのコンポーネントの修理もしくは交換とします。

### 保証の有効化

限定保証を有効にするためには、最初に小売店でご購入いただいた購入者(以下、「購入者」という)が「製品」の購入後7日以内に<http://www.srsuntour-cycling.com/service/productregistration/> で「製品」購入登録を行う必要があります。

### 保証対象外

本「製品保証規定」は、以下のことや以下のことに関して生ずる損害賠償や費用には適用されず、無効と見なされ、「保証人」はいかなる責任も負わないものとします。

- ▶ 「製品」を、たとえば「保証人」がそのウェブサイトにおいて提供しているマニュアルもしくはそ



の他の資料等に詳述されている説明どおりに、または適用される法律や規律、規制、規格に準拠して、適切に取り付け、使用、維持、保管、輸送していない。

- ▶ 「製品」を別の製品のサブコンポーネントとして不適切に仕様もしくは適用している。
- ▶ 「製品」が、「保証人」や「保証人」のOEM(相手先商標製品製造)、「保証人」の正規販売店以外の会社から購入されている。
- ▶ サブコンポーネントや部品、集合部品を含め、「製品」を改造、変更、修正している。
- ▶ 擦り傷や引っ掻き傷、微妙な色の違いなどの表面的な問題。
- ▶ 事故、放置、誤用、粗末な扱い、不適切な使い方、妥当なメンテナンスの欠如、不適切な組み立て、不適切に行われた修理、「保証人」が定めた仕様に準拠していない交換部品やアクセサリ、「製品」の推奨される許容限度を超えた使い方、または本「製品保証規定」に定められている保証手順を踏んでいないなどの場合。
- ▶ アクロバットや曲乗り(スタント)、ランプ走行、レースなどでの使用、および/または「製品」の通常の使用で生ずる消耗や劣化。通常の使用で消耗・劣化するものにはオイル、ダストシール、オイルシール、Oリング、ブッシング、ベアリング、ゴム製の可動部品、フォークパイプ、ベアリング、カートリッジなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ 「製品」が取り付けられている、他の組み付けに使われているコンポーネントのうち、「製品」の不具合によって損傷する可能性のあるコンポーネント。
- ▶ 正規サービスセンターへの「製品」の搬入・搬出に関連する輸送費用、「製品」を自転車から取り外すための作業費用、または修理中に「製品」を使用できないことに対する補償。
- ▶ 欠陥もしくは不具合のうち、「保証人」に対して、または本「製品保証規定」に記載されている「保証人」の正規代理店に対して、書面により適切なタイミングで迅速に通知されなかったもの。
- ▶ 天変地異等の不可抗力によって生ずる損害や費用。
- ▶ 時間の喪失、使用機会の喪失、不都合、利益の損失、仕事の喪失、商機の喪失、評判やのれんに対するダメージ、また、「製品」から、もしくは「製品」に関連して、または本「製品保証規定」には明確に規定されていないその他の事項から生ずるすべての付随的損害もしくは結果損害。

本保証は、「製品」のシリアルナンバーが変更・消去されたり、傷が付いて読めなくなったり、その他の方法で改ざんされたりした場合は、自動的かつ即座に無効となります。さらに、自転車のレンタルやリース、またはその他の商用目的(例えば配達業務)で「製品」を使用した場合は、本「製品保証規定」は即座に無効になります。

## 手順

本保証の対象になると思われる欠陥が見つかった場合、「購入者」はその欠陥を把握した日から10日以内に当該「製品」を購入した正規販売店に連絡し、「製品」に関する不具合もしくは欠陥について具体的かつ詳細な通知を行うこととします。この通知には「製品」の写真添えることとし、これには欠陥部分の写真、購入したことを証明する資料の写し、「製品」のシリアルナンバーが含まれます。さらに、保証請求書とともに「製品」のメンテナンス履歴を提出する必要があります。その後、「購入者」は30日以内に、限定保証が適用されるか否かに関する通知を受け取ります。適用された場合は、「購入者」には本「製品保証規定」の諸条件に従って提供される救済手段が通知されます。

「保証人」が独自の判断で「製品」を交換することにした場合でも、同じ「製品」が提供できる状況にない場合は、「保証人」は「製品」の代わりに「製品」と同等かより価値の高い別の製品を提供することができます。

ここに記載されている保証手順に「購入者」が従わない場合、「購入者」は本「製品保証規定」の下で有する可能性のあるすべての権利を失います。

## 損害賠償の制限

本「製品保証規定」に明示的に規定されている場合を除き、「保証人」は、「製品」の使用もしくは不使用に関連する付随的損害もしくは結果損害、または本「製品保証規定」による請求については、その請求が契約、不法行為等のどれに基づく場合であっても、一切の責任を負いません。保証に関する上記の内容は唯一のものであり、他のすべての救済手段もしくは損害賠償の代わりとなるものです。一部の国では付随的損害や結果損害の除外・制限が認められていないため、本制限・除外が適用されない場合があります。

## 免責事項

商品性もしくは特定の目的への適合性の黙示的保証、また、一連の取引過程や商慣習から生じるすべての黙示的保証は、法によるものか否かを問わず、本「製品保証規定」によってそこに規定される保証期間のあいだに厳しく制限されます。

本「製品保証規定」は、本「製品」に関して「購入者」が利用できる唯一かつ排他的な救済手段とします。何らかの保証違反が疑われる場合、または「保証人」の保証違反や過失の疑い、その他の不法行為に基づいて「購入者」が法的措置を取った場合、「購入者」の唯一かつ排他的な救済手段は、本「製品保証規定」に規定されているように、欠陥のある部分の修理もしくは交換、または購入代金の払い戻しになります。「保証人」の責任は、いかなる場合も「製品」の購入価額を超えることはありません。

### 限定保証の譲渡不可

この保証は、製品の最初の購入者のみを対象とした保証人の保証であり、後続の購入者または第三者には適用されません。この限定保証の有効期限の残りの部分は、いかなる事業体にも移譲することはできません。

### 適用法

本「製品保証規定」から生ずる、またはそれに関連する賠償請求や紛争については、どのような類のものであっても、ニューヨーク州の法律にのみ準拠し、これに従ってのみ解釈されるものとします。そして両当事者はここに、こうした賠償請求や紛争についてはすべて、他のすべての場所にある裁判所の管轄権を除外し、法選択の原則の適用を除外し、「国際物品売買契約に関する国際連合条約」の適用も受けず（両当事者は明確に除外します）、ニューヨーク州ホワート・ブレインズにある州裁判所もしくは連邦裁判所のみが審理し、管轄権を有することに明示的に同意します。

### その他の権利

「製品」を受け取った時点で、お客様は本「製品保証規定」の諸条件に同意したことになります。本「製品保証規定」はお客様に特定の法的権利を提供するものですが、お客様は同時に、それぞれの国によって異なるその他の権利もお持ちです。本「製品保証規定」の条件もしくは規定がそうした地域や国、連邦の法律や制定法、判決、規制、条例、行政命令、もしくはその他の法規によって無効になるか実施不能になる場合、そうした条件は修正もしくは削除されたものと見なすこととします。ただし、これはそうした制定法や規制、条例、命令、規範に準拠するために必要な範囲でのみ行うものであり、本「製品保証規定」の他の条項はすべて有効に存続するものとします。

### 完全合意

本「製品保証規定」だけが「製品」に関して「保証人」が提供する限定保証のすべてであり、「保証人」の製品パンフレットや販促資料、広告、技術仕様書等のいかなる内容も、本限定保証の範囲を広げるものではありません。「製品」に関しては、本「製品保証規定」に明示的に規定されている内容以外には、いかなる規定も約束ごとも、条件も保証も一切ありません。「保証人」は誰に対しても（「保証人」の販売店やその他の代理店、従業員を含みますがこれらに限定するものではありません）、本限定保証の期間や範囲、諸条件を広げる権限を与えることは一切なく、また、「製品」もしくは保証人が設計・製造・販売するその他の製品に関して、保証人にその他の義務や責任を新たに負わせたり引き受けさせたりする権限も付与しません。本「製品保証規定」のすべての条件は契約で同意したものであり、単に書き添えた内容ではなく、本「製品保証規定」の重要な条件となるものです。両当事者は、「保証人」と「購入者」の間のリスクを配分するのは本「製品保証規定」の条項であること、「保証人」が設定する価格にはこのリスク配分が反映されていること、そしてこのような責任の配分と制限がなければ「保証人」は本限定保証を提供していないことを承認し、同意するものです。

## ウェブリンク

詳細はSRSUNTOURのウェブサイト([www.srsuntour-cycling.com](http://www.srsuntour-cycling.com))を参照してください。

また、以下のリンクもご利用ください。

- ▶ サービスの申し込み：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/service-request>
- ▶ 製品登録：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/product-registration>
- ▶ メンテナンス紹介ビデオ：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/tech-videos>
- ▶ ダウンロードエリア：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area>
- ▶ 取扱説明書：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area/consumer-downloads/bike/owners-manuals/>
- ▶ フォーク用語集：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/fork-glossary>
- ▶ 保証：  
<http://www.srsuntour-cycling.com/service/warranty>

フォーク別用途一覧

RUX Double C		0			0				
RUX		0			0				
DUROLUX36 Boost	0	0				0			
DUROLUX						0			
AURON35-Boost		0					0		
AURON							0		
AION35-Boost		0					0		
AION							0		
ZERON 35		0					0		
AXON werx F								0	
AXON werx								0	
AXON34-Boost		0							0
AXON									0
EPIXON 9									0
RAIDON34		0							0
RAIDON32 650B+									0
RAIDON32									0
XCR34		0							0
XCR32 650B+									0
XCR32									0
XCR24"									0
XCM34		0							
XCM32 650B+									0
XCM									0
XCM-ATB			0						
XCM28 24"+									0
XCT									0
XCT ATB			0						
XCT JR									0
XCT JR L									0
MOBIE45	0								
MOBIE25		0							
NEX-E25		0	0						
CR85-E25		0		0					
NRX			0						
NVX			0						
NCX			0						
NEX			0						
CR9				0					
CR8				0					
CR7				0					
M3030			0	0					
M3010			0	0					

適正用途

45km/h までアシ スト の舗装 路や軽度 のオフ ロード を走行 する 電動アシ スト自転 車	25km/h までアシ スト の舗装 路を走行 する 電動アシ スト自転 車	舗装路ま たは軽 度の オフロ ード	舗装路		クロスカ ン トリー トレイル エンデュ ーロ	クロスカ ン トリー トレイル オールマ ウンテン	クロスカ ン トリー( 競技) クロスカ ン トリー	クロスカ ン トリー
使用禁止				全ての ライディ ング スタイル に使用 可能	使用禁止			
ダウンヒル エンデュ ーロ オールマ ウンテン クロスカ ン トリー( 競技) クロスカ ン トリー	ダウンヒル エンデュ ーロ オールマ ウンテン クロスカ ン トリー( 競技) クロスカ ン トリー	ダウンヒル エンデュ ーロ オールマ ウンテン クロスカ ン トリー( 競技) クロスカ ン トリー	ダウンヒル エンデュ ーロ オールマ ウンテン クロスカ ン トリー( 競技) クロスカ ン トリー		ダウンヒル	ダウンヒル	ダウンヒル エンデュ ーロ オールマ ウンテン	ダウンヒル エンデュ ーロ オールマ ウンテン クロスカ ン トリー( 競技)

SR SUNTOUR INC. (TAIWAN)

#7 Hsing Yeh Road,  
Fu Hsing Industrial Zone Chang Hua,  
Taiwan, R.O.C.  
Tel: +886- (0)4-769-5115  
Fax: +886- (0)4-769-4028  
E-Mail: orders@srsuntour.com.tw

SR SUNTOUR (KUNSHAN) INTERNA-  
TIONAL CO.,LTD

No 1500 Honghu Road Kunshan Develop-  
ment Zone  
Jiansu Province China 215333  
Tel: +86 (0)512-55171127  
Fax: +86 (0)512-55171117  
Service e-mail: sr-service@srsuntour.com.cn

SR SUNTOUR EUROPE GMBH

*Sales, Customer Support  
and Technical Services*

Riedstrasse 31  
83627 Warngau, Germany  
Tel: + 49 (0)8021 50 793-0  
E-Mail: service@srsuntour-cycling.com

SRS INTERNATIONAL TRADING LTD.

Room 301 3th floor,building No 2 Jianxing  
Industrial Zone Subei road  
Gongming town Guangming district Shen-  
zhen City, China 518106  
Tel: +86 (0)755-27108483  
E-mail: service@srsuntour.com.cn

SAV SR SUNTOUR France

Customer Support and Technical Services

604 voie Galilee  
73800 Sainte Hélène du Lac, France  
Tel: +33 (0)981241650  
Fax: +33 (0)479286971  
E-Mail: sav@srsuntour-cycling.com

SR SUNTOUR NORTH AMERICA

VANCOUVER, WASHINGTON  
Warranty, Service and Aftermarket Sales

14511 NE 10th Avenue, Unit E,  
Vancouver, Washington 98685 USA  
Service and warranty tel: 1-360-737-6450  
Service and warranty e-mail: service@srsun-  
tourna.com  
Sales tel: +1-855-205-BIKE(2453)  
Sales e-mail: ssna@srsuntourna.com  
Website: www.srsuntourna.com

MADISON, WISCONSIN  
Warranty, Service, Sales and Marketing

910 Watson Avenue, Madison,  
Wisconsin 53713 USA  
Tel: 1-608-229-6610  
Service and warranty e-mail: service@  
usulcorp.com  
Sales e-mail: sales@usulcorp.com

ONLINE SALES  
www.emarket.srsuntourna.com